

ふくしま 授産事業振興会だより

第29号

平成30年3月発行

(発行者)

福島県授産事業振興会
授産事業支援センター
<http://www.f-jusan.jp>

〒960-8012 福島市御山町8番30号(福島県保健衛生合同庁舎4階) TEL 024-563-1228 FAX 024-563-1234 E-mail: info@f-jusan.jp



農福連携で工賃向上



福島県授産事業振興会

会長 三浦 正一

会員の皆様には日頃より当会の運営にご支援、ご協力をいただき厚く感謝申し上げます。農福連携の取り組みも3年目に入ります。農福連携は、農業の発展と障がい者の仕事創出という農業者・障がい者の双方にメリットを生み出すことができる、地域にとっても喜ばしい取り組みでもあります。

29年度に実施しました、農福連携の勉強会でも農業に取り組むことにより工賃向上に寄与することができるとの意見も出されておりました。

県が策定した、「第3期福島県障がい者工賃向上プラン」においても、農福連携による障がい者の就農促進事業に新たに取り組むことや、6次化製品開発のための研修会や農産物を販売するためのマルシェを開催等行うこととなっており、当会においてもプランに沿った事業を展開してまいりました。

月額工賃は年々向上しておりますが、さらなる工賃水準の底上げを図るために、研修会の開催、市場動向に即した商品開発と販路の拡大など会員の皆様と連携して工賃向上に取り組んでまいりますので、一層のご支援とご協力をお願いいたします。

第23回通常総会の開催

平成29年5月30日(火)に、福島県総合社会福祉センター3階講堂において、平成29年度(第23回)福島県授産事業振興会通常総会が開催されました。総会には、会員126名のうち124名(委任状84名含む)が出席し、村田純子副会長が司会を務め、菅沼貴代晴副会長の開会のことばで進行しました。

はじめに、三浦正一会長より、障がい者の自立と社会参加を一層推進するために、県並びに関係機関・団体と緊密な連携を図り、授産事業の推進に努めて行く。とあいさつが述べられました。次いで、来賓の三浦爾福島県保健福祉部障がい福祉課長(県保健福祉部長代理)、熊川恵子福島県社会福祉協議会事務局長(県社協会長代理)から祝辞が述べられ、来賓紹介を行った後、木目沢善重氏(特定非営利活動法人みんなのまーち)を議長に選出し議事が進められ、いずれも原案のとおり可決承認されました。

また、役員改選が行われ、三浦正一現会長が再任されました。

本総会の提出議案及び新役員は次のとおりです。

議案第1号 平成28年度事業報告書の承認について

議案第2号 平成28年度一般会計収入支出決算書の承認について

議案第3号 平成28年度特別会計収入支出決算書の承認について

「障害者就労支援事業所コーディネーター事業及び授産施設震災復興支援事業」

- 議案第4号 平成28年度特別会計収入支出決算書の承認について
「農福連携支援事業」
- 議案第5号 平成29年度事業計画書（案）について
- 議案第6号 平成29年度一般会計収入支出予算書（案）について
- 議案第7号 平成29年度特別会計収入支出予算書（案）について
「障害者就労支援事業所コーディネーター事業」
- 議題第8号 平成29年度特別会計収入支出予算書（案）について
「農福連携支援事業」
- 議案第9号 役員改選について



開会挨拶（菅沼副会長）



来賓祝辞（県社協 熊川事務局長）



来賓祝辞（県障がい福祉課 三浦課長）



参加者の皆さん



●●● 福島県授産事業振興会役員 ●●●

任期 平成29年6月9日～平成31年6月8日（2年）

	氏 名	所属・役職		氏 名	所属・役職
会 長	三 浦 正 一	NPO 法人ひろせ・理事長	理 事	渡 辺 実	青松苑・苑長
副会長	菅 沼 貴代晴	社会福祉法人優樹福祉会・常任理事 兼事務局長	〃	中 山 栄	郡山市緑豊園・園長
〃	菊 地 洋 子	NPO 法人真桜会校の家・理事長	〃	横 田 守	ライジング・サン・施設長
〃	村 田 純 子	県福祉作業所・事業所連絡協議会・ 会長、NPO 法人ほっと悠・理事長	〃	大 栗 真 弓	さぎそうの家・施設長
理 事	熊 川 恵 子	福島県社会福祉協議会・事務局長	〃	郡 信 子	NPO 法人さぽーとセンターびあ・ 統括施設長
〃	舟 山 信 悟	福島県社障がい者福祉施設協議会・会長、 障害者支援施設けやきの村・園長	〃	佐 藤 みさ江	いわき学園・管理者
〃	伊 藤 清 次	福島県身体障がい者福祉協会・会長	〃	鈴 木 繁 生	のほら・管理者
〃	河 野 由美子	福島県手をつなぐ親の会連合会・理事	〃	浅 倉 秀 雄	学識経験者・福島県視覚障がい者協 力会・事務局長
〃	古 川 敬	福島県知的障害者福祉協会・会長	監 事	菅 野 勉	笹森の郷・所長
〃	吉 原 秀 一	福島県精神保健福祉会連合会つばさ 会・副会長	〃	千 葉 正 年	ゆうゆうハウス・理事長
〃	大 橋 明 美	NPO 法人ひびきの会 ワークショップろんど・所長	〃	松 崎 広 光	福祉サービス事業所かがやき・所長

※「第23回通常総会の開催」は、平成29年6月5日に当会ホームページの会員事業所へのお知らせ欄に掲載しております。

工賃向上支援事業

◆経営意識向上研修会

工賃向上は施設運営にとっても利用者の生活の質を高める上でも実施していかなければならない課題です。今回の研修では【常識を破る発想法】を学び、学んだ知識をもとに、【自施設商品の常識を破る計画】をどのように立てるかを内容とし行いました。

- 期 日 1日目：平成29年7月6日（木）
2日目： 7月27日（木）
- 場 所 福島県農業総合センター（郡山市）
- 参加者 20事業所・27名
- 講 師 阿部 憲夫氏
（経営士・ITコーディネーター）
佐藤 直美氏
（中小企業診断士・ITコーディネーター）
佐藤 舞氏
（データアナリスト・マーケター）



講師（右から 阿部氏、
佐藤直美氏、佐藤舞氏）



グループ討議

◆障がい者事業所における労務管理と事業活性化への意識向上研修会（日本セルフセンター共催）

福祉現場の労務管理と障がい者就労事業所における職員の工賃向上へのモチベーション作りについてご指導助言をいただきました。

- 期 日 平成29年10月25日（水）
- 場 所 福島県農業総合センター（郡山市）
- 参加者 26事業所・31名
- 講 師 田部 良夫氏
（社会保険労務士・中小企業診断士）
大泉 浩一氏
（㈱ネクストリソース代表取締役・中小企業診断士）



講師 大泉氏



参加者の皆さん

◆先進地視察研修

宮城県内で工賃が高い事業所の視察を行いました。

- 期 日 平成29年10月26日（木）
- 参加者 19事業所・32名
- 視察先 仙台ローズガーデン（仙台市） 花卉栽培
さくら学園（塩釜市） 資源回収・発泡
スチロール中間処理・名入れ



仙台ローズガーデン



さくら学園

◆製パン講習会（日本セルフセンター共催）

事業所におけるパン製造方法を検証し、より美味しいパンの製造と売り上げの向上を目指し、パン製造の技術を学びました。

- 期 日 第1回目 平成29年11月28日（火）
第2回目 1日目 平成30年2月22日（木）
2日目 2月23日（金）
- 場 所 阿部製粉 本社・工場（郡山市）
- 参加者 14事業所・20名
- 講 師 加藤 晃氏（中小ベーカリーアドバイザー）



加藤講師（中央）による実践と参加者の皆さん

◆家庭用品品質表示に関する研修会

- 期 日 平成30年3月1日（木）
- 場 所 福島市民会館
- 参加者 26事業所・29名
- 講 師 紺野 充氏（福島県生活環境部）



参加者の皆さん



農福連携支援事業

農業の多様な担い手の確保や障がい者の新たな就労の場の創出につながるよう福祉事業所の農業への参入や農業者による障がい者雇用の促進、福祉事業所における6次化製品開発・販路拡大など農業と福祉の連携による工賃向上に取り組んでいます。

◆「農福連携勉強会」を開催

農林水産省政策研究所から吉田企画広報室長兼首席政策研究調整官を招き、「農福連携 その現状と課題、そして未来」をテーマに基調講演をいただきました。

実践報告・パネルディスカッションを行い、農業を実践している福祉作業所の取り組み内容等学ぶことができました。

- 期 日 平成30年2月26日（月）
- 場 所 福島県総合農業センター（郡山市）
- 参加者 39事業所・88名
- 講 師 基調講演：吉田 行郷 氏（農林水産省政策研究所）
行政説明：丹伊田加奈 氏（福島県保健福祉部）
古川 勝弘 氏（福島県農林水産部）
- パネルディスカッション
コーディネーター：吉田 行郷 氏（農林水産省政策研究所）
パネラー：松崎 広光 氏（かがやき）
馬場 康德 氏（あたご共同作業所）
和田 庄司 氏（にんじん舎）
熊田 芳江 氏（こころん）
小淵 久徳 氏（前橋市 ゆずりは会）



講師（農水省 吉田企画広報室長）



講師（県障がい福祉課 丹伊田主事）



パネラーの皆さん



参加者の皆さん

◆農家への障がい者派遣

農家から要請を受けて、施設利用者の皆さんが農作業を行いました。



収穫後の圃場軽作業



選定枝の片づけ

◆農福マルシェの開催

県内外においてマルシェ（市場）を開催しました。



まちなか広場（福島市）



フラワーセンター（いわき市）

展示即売会・アンテナショップ

◆県外での販売会開催

1 埼玉県高齢・障害者ワークフェア

○期 日 平成29年9月13日(水)

○場 所 埼玉・浦和駅東口駅前

○参加数 10事業所



埼玉県高齢・障害者ワークフェア

2 ナイスハートバザール in せんだい

○期 日 平成29年12月1日(金)～8日(金)

○場 所 JR 仙台駅「コンコースステンドグラス前」

○参加数 20事業所



ナイスハートバザール in せんだい

3 日立グループ復興支援東北・熊本物産フェア

○期 日 平成29年12月5日(火)

○場 所 東京・池袋サンシャインシティ

○参加数 5事業所

4 日本橋ふくしま館 MIDETTE まごころフェア

○期 日 平成30年3月5日(月)～8日(木)

○場 所 東京・日本橋ふくしま館 MIDETTE

○参加数 31事業所



日本橋ふくしま館 MIDETTE まごころフェア



日立グループ復興支援東北・熊本物産フェア

◆第6回福島銀行大展示即売会

…売り上げを更新430万円…

12月15日（金）から17日（日）までの3日間、福島銀行本店大ホールにおいて大展示販売会を開催しました。昨年に引き続き復興応援ブースを設け、宮城・岩手・熊本・大分の施設製品も販売しました。

今回は、県と県内10市町村のご協力をいただき、ゆるキャラ11体が即売会を盛り上げていただき、ご来店いただいたお客様に好評でした。

今年も12階の展望ラウンジを開放していただき、昨年同様コーヒー・焼菓子の販売と新たにジェラートと弁当を販売しました。福島市内の眺望を楽しんでいただきました。

また、ステージイベントも盛り沢山で、施設の皆さんによる歌とダンスや地元出身のシンガーソングライター菅野恵さんのミニコンサートもあり、大いに盛り上がりしました。



展示販売会 地下大ホール



12階展望カフェ



施設の皆さんによる演奏



ゆるキャラ大集合



◆アンテナショップ「福祉の店」

昨年同様、福島市、郡山市、いわき市の3会場で2回開催、会津地方の会場で1回開催しました。

場 所		開 催 日	
		1 回 目	2 回 目
福 島 市	中合福島店	29. 8. 24～29 (6日間)	29. 10. 19～24 (6日間)
郡 山 市	イトーヨーカドー郡山店	29. 6. 9～19 (11日間)	30. 2. 19～29 (11日間)
い わ き 市	イオンいわき店	29. 7. 21～31 (11日間)	29. 11. 10～20 (11日間)
会 津 地 方	道の駅ばんだい	29. 9. 22～25 (4日間)	



福祉の店 いわき



福祉の店 郡山



福祉の店 あいづ



福祉の店 ふくしま

授産施設新製品(商品)開発コンクール・ 授産施設関係職員等研修会

平成29年度授産施設新製品(商品)開発コンクール及び授産施設関係職員等研修会が、平成30年2月3日～4日の両日にわたり「飯坂ホテル聚楽」(福島市飯坂町)で開催されました。

コンクールは、ライジング・サン、すてっぷが金賞 「農福連携特別賞」には、美里工房

コンクールは、非食品の部に、14施設から26点、食品の部には、12施設から18点、全体では、23施設44点の応募がありました。

入賞製品は次のとおりです。

◆非食品の部

- 金賞 手織り杖ストラップ with ちりめん【ライジング・サン】 鏡石町
- 銀賞 リデュースバッグ【自立研修所ビーンズ】 南相馬市

◆食品の部

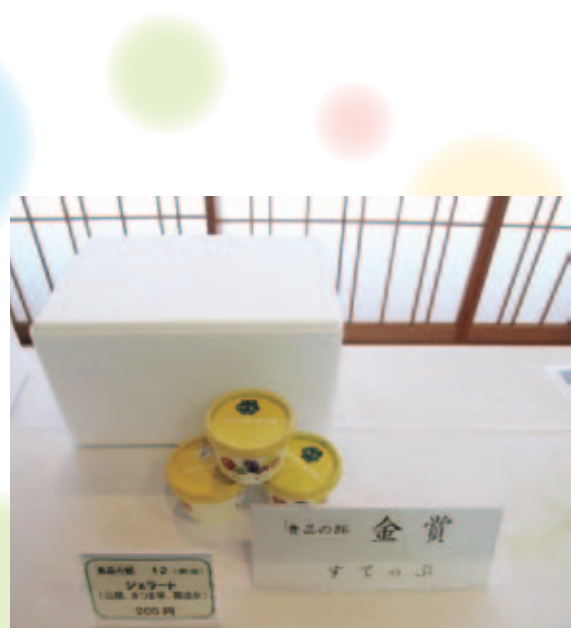
- 金賞 ジェラート【すてっぷ】 福島市
- 銀賞 ビーツ餃子【笹森の郷】 福島市
- 農福連携特別賞 えごまパウダー【美里工房】 会津美里町

◆特別賞

- 福島民報社賞 コードパッチン【なのはなの家】 福島市
- 福島民友新聞社賞 オトナクッキー(チーズ&ペッパー)【ベーシック憩】 福島市



金賞「手織りストラップ with ちりめん」



金賞「ジェラート」



銀賞「リデュースバッグ」



銀賞「ビーツ餃子」



農福連携特別賞「えごまパウダー」



福島民報社賞「コードパッチン」



福島民友新聞社賞「オトナクッキー」

研修会は、県内の施設・関係者92名が参加して開催されました。

1日目は、行政説明として、福島県保健福祉部障がい福祉課 主事 丹伊田加奈様から「第4期福島県工賃向上プランについて」ご説明いただきました。

引き続いて、日本政策金融公庫福島支店 押目隆一様、TMC 仙台支店 有澤和修様から「障がい者施設のための助成金と融資制度について」、株式会社ジェイアイシー南東北支店 小倉 淳様から「生活・就労サポート総合補償制度について」ご説明をいただきました。

2日目は、特定非営利活動法人きら女川 松原千晶 所長から「震災を乗り越え水産加工品の販売で高工賃を達成」を題とし、施設移転日に東日本大震災に遭い全てを失い、再起するまでの取組等についてお話をいただきました。

株式会社ネクストリソース 大泉浩一代表取締役から「超簡単!! 顧客情報活用術!! お客様の情報をうまく集めて! 上手に活用して売り上げにつなげよう!」を題としDMの作成等の方法をお話いただきました。



講師 大泉氏



講師 松原氏



参加者の皆さん

施

設

紹

介

就労継続支援B型事業所 Mamiya プリムローズ

(会津若松市)

障がい福祉サービス事業所「Mamiya プリムローズ」は、平成27年4月に就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）事業所として開所致しました。私たちの施設では、布製品を中心に利用者の方が織った織り布や縫い目をほどこした（糸ほぐし処理した）ジーンズなどの古着を布として再利用したバッグ・小物製品の製作に日々励んでおります。その他に、デザインとして絵を描いていただきバッグや小物に転写したり絵画の販売もしています。また、木工研磨の作業も追加し木の製品も現在考案中です。

利用者の皆さまには、製品になる喜びと商品を使っただけの喜びを感じながらやりがいを持って取り組める環境を提供させていただいております。

平成28年7月に喜多方駅前に従たる事業所として障がい福祉サービス事業所「エーコード」を開所し併設の「セレクトショップ&ギャラリーエーコード」にて自主製品の販売も致しております。

お客さまには、製品を通して利用者様との繋がりを少しでも感じていただけたら幸いです。



就労継続支援B型事業所 工房もくもく

(相馬市)

工房もくもくは、相馬市にある就労継続B型の作業所です。市内に社会資源が少ないため、日中活動の場として、利用者の生活のリズムを作ることを第一の目的として、平成28年4月にスタートしました。本人に合わせたゆっくりとしたペースで仕事を行っており、シルク印刷やはた織り、紙すき、ボールペンの糸巻きなどの作業から、自主製品の製造と販売を仕事にしています。

相馬市観光協会と連携して商品作りを行っており、相馬野馬追をテーマにした商品や観光案内施設のネコ館長「MISO」のグッズを企画し、利用者の工賃アップと相馬を盛り上げるように活動しています。

仕事のほかに創作活動として、歌や楽器で音楽を楽しんだり、絵本作家を講師に絵画ワークショップなどを行っています。開所から3年目となり、メンバーやスタッフに信頼関係ができて、これからの展開が楽しみです。



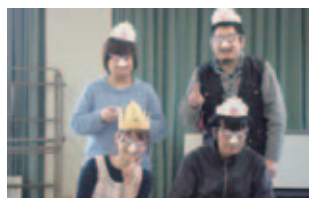
就労継続支援B型事業所 銀河工房

(田村市)

銀河工房は平成15年に作業所として開所し、平成20年にNPO法人銀河の森福祉社会が運営母体となって就労支援事業B型事業所に移行、今年で満15年となりました。

現在行っている作業の主なものはボールペン・シャープペンの組み立て、洋服たたみ、お昼寝まくら作り、会津もめん製品作り（トランクス、バッグ、りぼんピンなど）、季節により野菜シール貼りやダイレクトメール封入作業などです。また、資源回収は地域の方の協力を得て通年行っております。作業のほかに月に一回行事もしています。お花見や日帰り旅行、バーベキューなど。利用者とスタッフが協力して内容の話し合いや買い物、準備を行います（ポスターも描きます）。そして「ばんだいの集い」という全県の子供発達障害者や家族・関係者が4～500人集まる交流会が年1回あり他施設の方とも交流できるのでとても楽しみなんです。また地域の方との交流事業として「会食とミニコンサート」を法人が計画し、多くの方に好評いただいています。

モットーは「あせらず・あわてず・あきらめず」です。できることを少しずつ、あきらめずにやり続ける事を皆で心がけています。今後は工賃の向上や職員の資質向上、さらなる環境整備に努め、利用者や家族にとってはもちろん、地域に於いてもなお一層なくてはならない事業所となるよう、関係者一同力を合わせて参ります。



就労継続支援A型事業所 生涯就労支援センター

(いわき市)

当事業所は、常磐西郷町の「常磐銭田工業団地」内の閑静な地に、平成28年7月に就労継続支援A型事業所として開所いたしました。

“働きながら一般企業への就業を目指そう!!”をモットーに、職業技術や体調管理能力、コミュニケーション能力などを身につける為に、実際の業務や職業訓練を行います。

当事業所の対象者としましては、一般企業に就労することが難しいが、雇用契約を結んで継続的に就労することが可能な65歳未満の軽度障がいの方になります。

主な生産活動としまして、通販大手「Amazonプライム」に出店しており、生活雑貨、服飾、家電、化粧品、健康グッズ等のネット販売に伴う商品の梱包、配送先の宛名ラベル貼りの他、部品の組み立て、加工、段ボール、袋詰め等の内職業があります。

業務以外にも、一般常識や社会常識、コミュニケーション能力など利用者さんがいつか一般就労するために必要な能力を身につけることができます。

多くの仲間たちが、それぞれのペースで力をつけながら、個性を活かし長所を伸ばすことで、自分の働きが評価される喜びを、日々感じながら働ける職場です。そして、それらは利用者さんの生活を生き活きとしたものに変えてくれるでしょう。



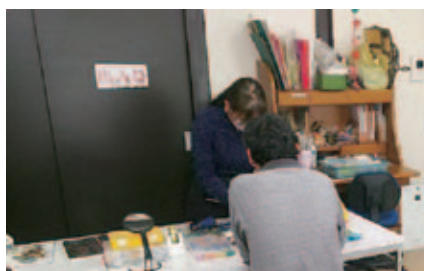
就労継続支援A・B型事業所 ピーサポートさくら

(福島市)

ピーサポートさくらは、平成29年2月に開所いたしました。現在は就労継続支援B型事業所・就労継続支援A型事業所として、福島市やその周辺にお住まいの障がいをお持ちのみなさまに日中活動の場を提供して、自分らしく地域で生活していけるよう支援しております。主な活動内容は、苔玉の作成、刺繍糸やヘンプ・レザー等を使ったミサンガ（プレスレット・アンクレット）の製作、とんぼ玉の製作や布、水引細工、ビーズ等を使ったアクセサリーの製作等を行い、それらの販売を行っております。

一年を通じていろいろな行事を企画し、去年は、お花見や芋煮会を行い、利用者様も大変楽しい時間を過ごすことができました。今年もまた、楽しい企画をみんなで考えています。

利用者様一人一人に合わせた支援を行い、みなさまが笑顔で楽しく来てくださる、そんなアットホームな事業所を目指して活動しております。ぜひ一度「ピーサポートさくら」までご見学にお越しください。

**就労継続支援B型事業所 大生信夫の里**

(福島市)

大生リコピントマト農場は平成29年12月に就労継続支援B型事業所として、開所しました。施設の中にはファミリーホーム、グループホーム、ショートステイと3つの施設を併設しています。利用者定員は40名で、体験や見学を行う方が連日多く来られています。

作業は、トマトハウスの中では、トマトの収穫、芽かき、葉かきなどを行い、作業室では、玉ふき、計量、箱作り、袋詰め、ラベル貼りなどを行っています。

当事業所ではトマト（大生えがおトマト）の生産・販売とジャムの販売も行っています。いちい、ハシドラック、道の駅（国見、土湯）に協力していただいております、直売所での販売も行っています。

私たち大生リコピントマト農場では、利用者が家族や職員、地域の方と共に生産者となり、生き生きと働ける場所にしたいと思っています。私たちのトマトで福島に「えがお」が広まればとてもうれしいです。みなさんどうぞよろしくお願い致します。



情報コーナー

◎30年度アンテナショップ「福祉の店」の開催日程（予定）

・郡山市	イトーヨーカドー郡山店	1期	6. 8（金）～18（月）11日間
		2期	31. 1. 18（金）～28（月）11日間
・いわき市	イオンいわき店	1期	7. 20（金）～30（月）11日間
		2期	11. 9（金）～19（月）11日間
・福島市	中合福島店	1期	8. 23（木）～28（火）6日間
		2期	10. 18（木）～23（火）6日間
・会津方部	道の駅「ばんだい」	1期	9. 21（金）～24（月）4日間
		2期	

※開催日程は会場の都合により、変更する場合があります。

事務局通信

◎平成30年度（第24回）通常総会を開催します。

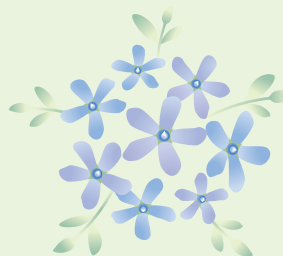
- ・日 時 平成30年5月30日（水）午後1時30分から
- ・場 所 福島市民会館（福島市霞町）

◎事務局長が変わりました

長年事務局長をされていた斎藤敏明氏は、平成30年3月31日に退職し、後任に県北・県中圏域支援員の堺昭一が就任いたしました。

◎担当圏域の変更

県北・相双圏域	佐藤 光男
会津・県中圏域	増井 義博
県南・いわき圏域	高橋ひとみ



編集後記

震災後から続けてきている福島銀行大展示販売会は、過去最高の売り上げを記録することができました。これもひとえに福島銀行様の障がい者施設に対するご理解とご協力の賜であり、感謝するばかりです。

今回は、各自治体からのご協力を得て、ゆるキャラに出演していただいたことも集客につながったものと考えております。

毎回、多くのお客様にご来店いただき、数多くの製品をお買い求めいただいておりますが、後半になりますと食品類が少なくなり、補充できる体制が必要と考えております。売れる時に販売できる体制づくりが課題と思われます。施設の協力なしではできないことですので、各支援員等を通じ体制づくりをしていきたいと考えます。

事務局